

# 1 「恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまち」

## (1) 美しい景観を守り、豊かな自然と共生した多様な暮らしを満喫

できる生活環境を形成します



新規事業



拡充事業

(事業名の頭に標記)

### 道路整備事業（都市計画街路事業含む）

9億1,714万円

(担当：建設課建設係、都市計画課都市計画係)

市民の生活を支える基礎となる市道を整備し、安全で快適な道づくりを実施します。



整備が進む片馬合萩荘線（金成地区）

《築館》照越中央線、栗原中央西線、  
東沢二号線、横須賀上畑岡線、  
一迫南線、駅前大通線  
《若柳》川北花泉線  
《若柳・志波姫》新山十文字線  
《金成》片馬合萩荘線  
《志波姫》御蔵線

財源	国の負担額	1億2,481万円
	市の負担額	7億9,233万円
	(うち市債[借入金])	7億5,730万円

### 公営住宅建設事業

3億1,704万円

(担当：建築住宅課建築係)

安心して暮らせる居住・生活環境整備を図るため、老朽化の著しい公営住宅の建替えを行います。

建替 《高清水》市営中の莖住宅  
市営五輪東住宅

財源	国の負担額	1億4,323万円
	市の負担額	1億7,381万円



建替を行う市営中の莖住宅（高清水地区）

### 地域交通対策事業

3億2,854万円

(担当：市民協働課地域振興係)

平成31年4月から、利用者の自宅から地区内の拠点を結ぶ「乗合デマンド交通」を市内全域で運行します。なお、広域路線、市内連携路線のバスは、これまでどおり運行します。

※詳しくは「栗原市民バス時刻表」を確認ください。

■広域路線・市内連携路線 / 片道100円  
■乗合デマンド交通 / 片道300円  
※乗合デマンド交通は事前登録が必要です

財源	県の負担額	1,185万円
	市の負担額	3億1,669万円

# 1 「恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまち」

## (1) 美しい景観を守り、豊かな自然と共生した多様な暮らしを満喫

できる生活環境を形成します



新規事業



拡充事業

(事業名の頭に標記)

### 住まいる栗原シェアリングタウン事業

9,488万円

(担当：管財課財産係)

若者世代の移住や定住促進を目的に、市が所有する未利用地を住宅分譲地として整備・販売を行います。

整備予定区画数：16区画

整備予定箇所（志波姫南郷蓬田地区）



### 移住定住支援事業

5,308万円

(担当：定住戦略室定住戦略係)

#### 移住定住促進事業

移住ガイドブック等を作成し、首都圏で開催される移住フェアなどで配布するとともに、子育て支援策や市の魅力についての動画などを制作し、市外へ発信します。

また、移住相談者に対して、移住支援員と『くりはら移住定住コンシェルジュ』等の官民連携によるきめ細かな対応を行い、移住につなげます。

#### 移住定住助成事業

民間賃貸住宅に入居する新婚世帯への家賃助成や、住宅を取得等（新築・購入・増改築）した転入者等への住宅取得等資金の一部助成、市外の勤務地に遠距離通勤を行う新規学卒者等への経費の一部助成などを行い、市外への転出抑制と市内への転入促進を図ります。

#### 空き家活用促進事業

空き家バンク制度を充実させ、空き家の登録情報を利用希望者に提供します。制度を利用して空き家を取得等した転入者には、リフォーム工事費の一部を助成します。

また、栗原での生活を短期間体験していただき、関係人口の増加や移住につなげるため、移住体験施設を無料で貸出しします。



市内に移り住んだ先輩移住者や移住希望者等との「さざほぎ交流会」の様子



ウェブ公開中の子育て支援策等PR動画「びっくりはらくん」で今すぐ検索！

財源	県の負担額	1,220万円
	市の負担額	4,088万円

# 1 「恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまち」

## (2) 豊かな心と文化を育み、生涯を通じて学べるまちづくりを目指

します

=新規事業 =拡充事業 (事業名の頭に標記)

### 若柳公民館整備事業

4, 145万円

(担当：社会教育課生涯学習係)

地域の生涯学習施設の拠点となっている若柳公民館の老朽化が進んでいるため、市民が「いつでも どこでも だれでも」学べる施設として、安心して利用できる公民館を整備するため実施設計を行います。



整備予定の若柳公民館

財源	市の負担額	4, 145万円
	(うち市債[借入金])	3, 930万円

### 文化振興事業

2, 345万円

(担当：社会教育課生涯学習係)



栗原文化会館での小学校芸術鑑賞会

優れた文化芸術に触れる機会を提供し、市民の文化的感性や創造性を育むとともに、心豊かな活力ある芸術文化の振興を図ります。

#### 〔主な事業〕

小学校芸術鑑賞会、けやきステージ、劇団四季公演、市民参加型事業

財源	入場券販売収入	675万円
	市の負担額	1, 670万円

### くりはら市民大学の開設

169万円

(担当：社会教育課生涯学習係)

日常生活を快適に送ることができるよう、暮らしや健康などをテーマとし、市民大学を開設します。

学習内容は、市民の皆様が興味を持ち、栗原にしながら学びに向かい合えるものとし、専門的な知識や経験等を有する方に講師を依頼し開催します。

- 応募要件 学生を除く18歳以上の市民
- 募集人数 100名
- 講座回数 全7回を予定



財源	受講者の負担額	20万円
	市の負担額	149万円



気象予報士の齊藤やすのり氏による「天気予報の楽しみ方」を学ぶ受講生の様子

# 1 「恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまち」

## (3) 安全・安心なまちづくりを推進します

=新規事業 =拡充事業 (事業名の頭に標記)

### 民間建築物吹付けアスベスト含有調査除去等助成事業 350万円

(担当：建築住宅課建築係)

建物所有者等が行う吹付けアスベスト含有調査費用に対する助成を行い、安全な生活環境の形成を支援します。

〔助成内容〕

- 吹付けアスベスト含有調査  
調査費用の100% (上限25万円)

財源 国の負担額 350万円

### 自主防災組織活動支援事業 450万円

(担当：危機対策課防災係)

自主防災組織が行う防災訓練や講習会などに要する経費の2/3 (上限3万円) を助成します。



災害に備え訓練する高清水九区自治会自主防災会

### 災害から市民の生活を守る道路整備

5億4,743万円

(担当：建設課建設係・維持係)

道路橋の点検を行い点検結果による修繕や架け替えを行うことで、道路橋の長寿命化を図り市民の安全な生活環境を守ります。

- 《若柳・志波姫》大林線 ((仮称) 栗原東大橋)
- 《瀬峰》小深沢大鱈谷線
- 《全市》市道・橋りょう長寿命化対策事業

財源 国の負担額 2億1,273万円  
市の負担額 3億3,470万円  
(うち市債〔借入金〕2億9,830万円)



橋りょう長寿命化対策事業 (栗駒地区：御駒橋)

### 耐震診断・耐震改修工事促進助成事業

2,620万円

(担当：建築住宅課建築係)



近い将来発生するかもしれない大地震に備え、昭和56年以前に建築された木造住宅に対して、耐震診断士を派遣し、耐震診断並びに改修設計を行います。さらに、診断に基づいた耐震改修工事に対し助成を行い、安全・安心な居住環境の確保を支援します。

- 木造住宅耐震診断助成事業  
耐震診断士の派遣、診断、設計の支援
- 木造住宅耐震改修工事促進助成事業  
木造住宅の耐震改修工事への助成

財源 国の負担額 1,210万円  
県の負担額 605万円  
市の負担額 805万円

# 1 「恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまち」

## (3) 安全・安心なまちづくりを推進します

=新規事業 =拡充事業 (事業名の頭に標記)

### 「栗原市防災の日」栗原市総合防災訓練

474万円

(担当：危機対策課防災係)

災害での経験と記憶を後世に伝え、大規模自然災害についての認識を深めるとともに、災害に対する備えの充実と強化を図り、災害時の被害を軽減させるため、栗原市総合防災訓練を実施します。



平成30年度総合防災訓練の様子

### 交通安全施設及び防犯灯整備事業

1,280万円

(担当：危機対策課防災係)

交通事故防止及び夜間における犯罪抑止のため、市内のカーブミラーやガードレール、道路表示、防犯灯などを整備します。



見えにくくなった道路表示の整備

### 防犯カメラ設置事業

440万円

(担当：危機対策課防災係)

犯罪の抑止を図り、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、防犯カメラを設置します。

財源	県の負担額	120万円
	市の負担額	320万円

### 消防団装備充実強化事業

1,111万円

(担当：消防本部総務課総務係)

消防団員の災害現場における活動時の安全性と機動性の向上を目的として、防塵マスク、防塵メガネ、トランシーバー、消防用ホースを購入します。

財源	県の負担額	370万円
	市の負担額	741万円

### 消費生活相談窓口設置事業

505万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

契約トラブルや悪質商法等、多様化・複雑化する消費生活相談に対応するため、専門知識を有する相談員を配置し、相談に応じます。

〔相談窓口〕

月曜日～金曜日 午前9時～午後4時  
(祝日・年末年始除く)

専用電話 0228-22-1501

財源	県の負担額	491万円
	市の負担額	14万円